



ダム下流の環境のために 放流水温を調節しています

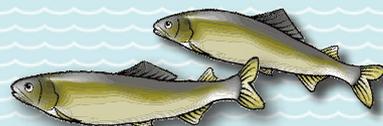
比奈知ダム下流の名張川では、夏の間、鮎釣りを楽しむ人々の姿が見られます。アユが活発になり、よく釣れる条件は、水温が23℃から27℃のとき。水温が28℃を越えるとだんだん元気がなくなり、あまり釣れなくなります。特に夏期は気温が高いため、ダムからの放流水が川を流れるうちに温まり、水温が高くなります。そこで比奈知ダムでは、下流河川に生息している魚類に影響を与えないよう、選択取水設備で取水位置を調節してダムから放流する水の水温を下げています。しかし、水温を下げすぎると、流域の田畑の農作物には悪影響があるため、比奈知ダムでは、水温や水質のチェックを持続的に行っています。



名張川と宇陀川の合流地点で釣りを楽しむ人々



選択取水設備で取水位置を調節してダムから放流する水の水温を下げています。しかし、水温を下げすぎると、流域の田畑の農作物には悪影響があるため、比奈知ダムでは、水温や水質のチェックを持続的に行っています。

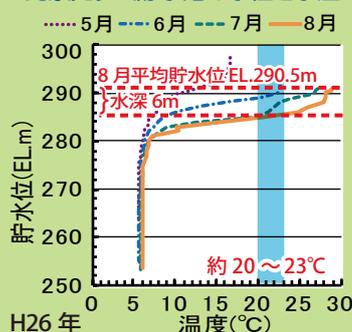


水温を調節する方法は？

放流水温を調節するために、ガスで温めたり水で冷やしたりしてはなりません。貯水池の水温は、熱対流によって浅い部分は高く、深い部分は低くなっています。右のグラフは、平成26年の比奈知ダム貯水池での水位と水温の関係を示しています。季節による変化もありますが、8月は平均貯水位（水面）が約EL.290.5mで、その水温は約29℃と高温です。しかし、水面より6m下の水位約EL.285mあたりの水温は約20～23℃になっています。そこで、約6mの水深を選択して放流することで、下流の魚類や田畑の農作物に影響が出ないように水温の調節をしています。

※EL＝標高。比奈知ダム管理所付近で約313m。名張市役所付近は約224m。三重県庁付近（津市）は約10m。

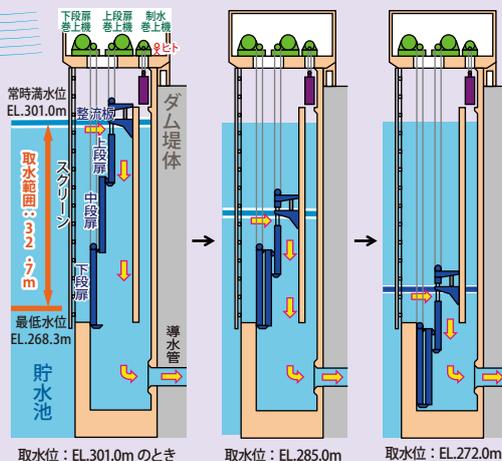
比奈知ダム貯水池の水位と水温



比奈知ダムの選択取水設備



上の写真は貯水池側から見た比奈知ダムです。真ん中あたりにあるのが、放流水を取水するための選択取水設備です。中には、幅5m、高さは34mになる巨大な3段式の扉があり、右図のように上下に開閉することで、取水位置をEL.301.0mからEL.268.3mの範囲で選択できます。水温調節だけでなく、大雨で濁水が発生したとき、植物プランクトンが異常発生した時などにも取水位置を調節し、水環境の維持に務めています。



選択取水設備のしくみ

この新聞は、『少しでも環境に優しくできることはないか』と考え、『できることからやってみよう!!』と、私達が取り組んでいることを自己啓発も兼ねて皆さまに紹介しています



独立行政法人 水資源機構 比奈知ダム管理所
〒518-0412 三重県名張市上比奈知字熊走り1706
【TEL】0595-68-7111 【FAX】0595-68-7114



【PC】 <http://www.water.go.jp>
【携帯】 <http://kokoten.com/u1/hinachidam/>
※ご利用には通信料が必要です